

株式会社 中北製作所
2017年度環境経営レポート
(対象期間:2017年 6月~2018年5月)



作成日: 2018年6月1日
更新日: 2018年10月15日

□ごあいさつ

我々、中北製作所は人類共通の課題である環境問題と前向きに向き合い、地域との共生を通じながら環境問題の改善に努め、当社の事業に関わる環境負荷の低減に向けた活動を実施し、未来に綺麗で住み良い地球を残すべく、地球環境の保全に貢献します。

株式会社中北製作所

代表取締役社長 中北 健一

環境経営方針

当社は、各種バルブ及び遠隔操作装置の設計・製造並びに販売とそのメンテナンスを主に行う企業として、企業活動の中で環境問題への取り組みが当社の業績を左右する重要な要素ととらえ、省資源・省エネルギーに自主的、積極的に取り組み、経済発展と環境保全の両立を図る社会的責任を認識し、社会に貢献する。

- 1、関連する法令・規制要求事項ならびに顧客や市場など外部からの要求事項を順守する。
- 2、環境と品質の複合マネジメントシステムを構築・運用し、その有効性の継続的な改善と環境汚染の予防に努める。
- 3、重点施策
 - 1) 環境負荷低減の推進
環境負荷の低減については、次の3つの項目を推進する。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - 2) 化学物質使用量の削減
化学物質(SVHC)については、適切な把握・管理が求められていることから、仕入先からの化学物質含有情報入手に関する連携を密にし、化学物質の適切な把握・管理にも努力する。
 - 3) グリーン購入やグリーン調達
 - 4) 製品への環境配慮
 - 5) 社会、地域と共生
- 4、この環境方針は、社内全体に周知すると共に、環境経営レポートを公開する。

制定日： 2011年2月4日

改定日： 2018年8月7日

代表取締役社長

中北 健一

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 中北製作所
代表取締役社長 中北 健一

(2) 所在地

本 社 大阪府大東市深野南町1-1
東京営業所 東京都港区浜松町1丁目27-17
北九州営業所 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目11-15

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 由上 晃規 TEL:072-871-1331
環境事務局長 総務次長 渡辺 芳幸
事務局 総務部 福島 恒太郎

(4) 事業内容

各種バルブ及び遠隔操作装置の設計・製造並びに販売

(5) 事業の規模

売上高(第91期) 217 億円

(2017/5 現在)

	本社	東京営業所	北九州営業所
従業員	447	23	16
面積	42,900m ²	400m ²	170m ²

(6) 事業年度

6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 中北製作所 本社工場
東京営業所
北九州営業所

活動:

各種バルブ及び遠隔操作装置の設計・製造並びに販売

下記に示す中北製作所の各種バルブ及び制御装置に係る受注、
設計、製造、検査、出荷に関連するプロセスに適用する。

①バルブ : 調節弁・調整弁・シリンダ弁・電磁弁・安全弁・電動弁
バタフライ弁・一般弁を含む各種バルブ

②計器・計装品 : レベルスイッチ、コントローラ、ツインパワーを含む
関連機器。

③遠隔操作装置 : カーゴバルブ及びバラストバルブ用操作盤、
パワーユニット、油圧機器、遠隔液面指示計など。

④その他の製品 : レデューサ、ストレーナなど関連機器。

⑤上記①～④に係る部品、ユニット又はそれらの組合せ品。

⑥上記①～⑤に係る付帯サービス。

□主な環境負荷の実績

全社

項目	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,716,257	1,693,536	1,624,685	1,705,103	1,716,489
CO2排出係数		0.355				
廃棄物排出量	kg	167,190	146,604	164,623	165,354	159,848
一般廃棄物排出量	kg	13,590	13,612	14,054	14,174	13,497
産業廃棄物排出量	kg	153,600	132,992	150,569	151,180	146,351
水使用量	m ³	17,320	20,033	17,112	19,064	21,108
化学物質使用量	kg	18,641	18,062	20,042	21,004	19,324

本社

項目	単位	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,880,195	1,539,945	1,563,430	1,531,297	1,602,688
CO2排出係数		0.355				
廃棄物排出量	kg	235,730	191,730	176,072	161,651	153,553
一般廃棄物排出量	kg	12,300	12,300	11,703	9,987	11,855
産業廃棄物排出量	kg	223,430	179,430	164,369	151,664	141,698
水使用量	m ³	25,605	16,152	15,879	15,112	17,723
化学物質使用量	kg	28,596	27,100	22,931	22,426	18,634

項目	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,673,269	1,652,648	1,585,181	1,665,697	1,670,960
CO2排出係数		0.355				
廃棄物排出量	kg	166,565	146,075	164,147	164,842	159,582
一般廃棄物排出量	kg	12,965	13,083	13,578	13,662	13,231
産業廃棄物排出量	kg	153,600	132,992	150,569	151,180	146,351
水使用量	m ³	16,886	19,691	16,807	18,727	20,807
化学物質使用量	kg	18,641	18,062	20,042	21,004	19,324

東京営業所

項目	単位	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂				6,779	6,899
CO2排出係数					0.355	
水道水の削減	m ³				462	449

項目	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	6,613	6,508	6,653	6,552	6,446
CO2排出係数		0.355				
水道水の削減	m ³	434	342	305	337	301

北九州営業所

項目	単位	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂				26,622	32,133
CO2排出係数					0.355	
一般廃棄物排出量	kg				—	—

項目	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	36,375	34,380	32,851	32,854	39,082
CO2排出係数		0.355				
一般廃棄物排出量	kg	625	529	476	512	266

□環境経営目標・実績

本社

項目	年度	基準値 (基準年度)	2017年		2018年	2019年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	1,371,379 (2008年)	1,234,241 90%	1,299,971 95%	1,220,527 89%	1,206,813 88%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	110,114 (2008年)	70,473 64%	58,264 53%	69,372 63%	68,271 62%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,894,711	1,304,714	1,670,960	1,289,899	1,275,084
一般廃棄物の削減 (可燃物を対象)	kg 基準年比	9,987 (2011年)	12,983 130%	13,231 132%	12,484 125%	11,984 120%
産業廃棄物の削減	kg 基準年比	223,430 (2008年)	145,230 65%	146,351 66%	142,995 64%	140,761 63%
水道水の削減	m ³ 基準年比	19,691 (2014年)	19,297 98%	20,807 106%	19,100 97%	18,903 96%
化学物質の削減	kg 基準年比	28,596 (2008年)	20,017 70%	19,324 68%	19,445 68%	18,873 66%
購入資材への環境配慮	グリーン購入比率		40%	34%	41%	42%
購入資材への環境配慮	総務部	事務用品のグリーン購入率の向上を図る グリーン調達を進める				
	資材調達部	グリーン調達ガイドラインによる業者評価を行う				
製品への環境配慮	総務部	地域清掃の実施 自販機募金を行う				
	経理部	自部署内の整理・整頓・清掃				
	本社営業部	客先のエコ志向に関する情報収集と社内への伝達 EA21のPR				
	技術部	製品の小型化 顧客向け講習会の開催				
	生産企画部	社内システム変更による効率化 ペーパーレス化を全社的に奨励する				
	工務部	作業場の整理整頓を行い作業効率の改善 過剰包装の禁止				
	資材調達部	仕入先への環境配慮推進 EA21のPR				
品質保証部	過剰養生の監視 作業環境の監視					

東京営業所

項目	年度	基準値 (基準年度)	2017年		2018年	2019年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	6,653 (2015年)	6,653 100%	6,552 98%	6,587 99%	6,520 98%
水道水の削減	m ³ 基準年比	434 (2011年)	391 90%	337 78%	408 94%	404 93%
購入資材への環境配慮	グリーン購入比率		83%	98%	84%	85%
製品への環境配慮		検討中				

北九州営業所

項目	年度	基準値 (基準年度)	2017年		2018年	2019年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	6,786 (2012年)	6,243 92%	7,199 106%	6,175 91%	6,108 90%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	26,199 (2015年)	24,103 92%	25,655 98%	23,841 91%	23,579 90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	32,985	30,346	32,854	30,016	29,687
一般廃棄物の削減 (可燃物を対象)	kg 基準年比	1,042 (2012年)	948 91%	512 49%	937 90%	927 89%
購入資材への環境配慮	グリーン購入比率		33%	65%	34%	35%
製品への環境配慮		メンテナンスを行い製品の寿命を延ばす				

□環境経営計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

【本社】

環境経営計画	結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
昼休み等電気不要時の消灯	◎	継続	冬場の使用量が多く、原因の追究が課題となっています。
夜間、休日はPC、プリンタの主電源オフ	◎	継続	
クールビズ、ウォームビズ励行でエアコンの使用を抑える	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
急発進、急加速をしない	◎	継続	運転手が限られており、安定して活動を継続していきます。
アイドリングストップの励行	◎	継続	
目的地へ最短距離で走行	◎	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
両面、集約、裏面コピーの活用	◎	継続	文房具回収や委員会での啓発により、活動の効果が見え始めています。
使用済み封筒の再利用	◎	継続	
マイコップの推奨	○	継続	
ゴミ分別の徹底	○	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
ウエス、軍手の節約	○	継続	有害使用済機器やPCB廃棄物等、廃棄が増えてきており、次年度のネックになりそうです。
通いかごの推奨	○	継続	
水道水の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
節水の心掛け	◎	継続	活動としては全社に根付いていると考えます。
化学物質の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
使用済みシンナー再生の検討	◎	継続	使用済シンナーのリサイクルを採用し、化学物質の削減に大きく貢献しました。コスト面でも経費削減につながりました。
塗装業者への協力要請	○	継続	
シンナー等の節約	○	継続	
購入資材への環境配慮(グリーン購入)			
事務用品のグリーン化	○	継続	一部の部署で再生紙の使用を始めました。
環境関連セミナーへの参加	○	継続	
製品への環境配慮			
職場内の整理整頓	◎	継続	安全推進の一環で5Sを全社で徹底する動きが出ています。
社会貢献			
地域清掃の実施	◎	継続	初の試みでゴーヤ募金を実施しました。来期はキュウリ募金を予定しています。
自動販売機募金の実施	◎	継続	
ゴーヤ募金を環境団体へ寄付	◎	継続	

【東京営業所】

環境経営計画	結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
昼休み等電気不要時の消灯	○	継続	例年より梅雨明けが、一ヶ月程早まったことにより夏季のエアコン使用量の増加が見込まれる。また、国道沿いに面した2階ということも有り、騒音や排気ガスの影響を考慮すると窓を開放して外気による室温調整が難しい。その中で、可能な限りクールビズに取り組んでいきます。
夜間、休日はPC、プリンタの主電源オフ	○	継続	
クールビズ、ウォームビズ励行で エアコンの使用を抑える	○	継続	
照明の間引き	○	継続	
削減への工夫の協議	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標		<input checked="" type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
会議はプロジェクト等の利用によりペーパーレス化	○	継続	書類をプリントアウトせずにPDFにて保存、社内便における封筒の再利用、コピー機能活用の促進及び利用方法を周知・徹底・教育していきます。
社内LAN、データベースの利用による電子 使用済み封筒の再利用	○	継続	
両面・集約の機能を活用したコピーの徹底	○	継続	
水道水の削減			
数値目標		<input checked="" type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
節水の心掛け	○	継続	目標は達成しているが、更なる改善の為に蛇口の開度を全開にしないよう、注意喚起してまいります。
購入資材への環境配慮(グリーン購入)			
事務用品のグリーン化	○	継続	問題無く目標達成出来ている、購入先もエコ対象品かの表示がしており、引き続き目標を達成するように致します。
製品・サービスへの環境配慮			
	○	継続	引き続きCO2排出削減の為、納期の取り纏めによる輸送回数を減らしていきます。また、梱包の重量や廃棄される梱包材の量にも配慮し、可能な限り過剰にならないよう適切な梱包を指示してまいります。

【北九州営業所】

環境経営計画	結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し	
昼休み等電気不要時の消灯	○	継続	電力の削減は2012年の基準年に対し2017年度は-9%を目標としてきたが限界値に達していると感じる。次年度は基準年の見直しと更なる削減目標を検討する。
夜間、休日はPC、プリンタの主電源オフ	○	継続	
クールビズ、ウォームビズ励行で エアコンの使用を抑える	○	継続	
照明の間引き	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input checked="" type="checkbox"/> 基準見直し	
速度制限の厳守	○	継続	自動車燃料の削減項目についてもほぼ達成出来ていない。次年度は更なる削減目標を検討することと目標値の検討も併せて行う。
急発進、急加速や空ぶかしの排除	○	継続	
駐停車でのエンジン停止を励行	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標		<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し	
両面、集約、裏面コピーの活用	○	継続	通期で目標値を達成できている。次年度も継続して削減率を見直していく。
使用済み封筒の再利用	○	継続	
社内LAN、データベースの利用による電子化	○	継続	
ゴミ分別の徹底	○	継続	
購入資材への環境配慮(グリーン購入)			
グリーン購入比率を高める	○	継続	通期で目標値を達成できている。次年度も継続して購入比率を上げていく。
出来るだけまとめて発注し、簡易梱包を選	○	継続	
製品・サービスへの環境配慮			
メンテナンスを行い製品の寿命を延ばす	○	継続	2017年度は概ね達成できた。次年度も継続致します。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

【本社】

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物 産業廃棄物 廃水処理装置 特管廃棄物
大東市火災予防条例	加熱炉
労働安全衛生法	クレーン プラスト 電気炉 コンプレッサー 塗装ブース
クレーン等安全規則	簡易リフト
騒音規制法	空気圧縮機 走行クレーン 集じん機 他
振動規制法	空気圧縮機 走行クレーン 集じん機 他
化学物質排出把握管理促進法	エチルベンゼン トルエン キシレン
大阪府生活環境の保全等に関する条例	クレーン 研磨施設 集じん機 電気炉 溶剤洗浄施設 吹付塗装施設
大気汚染防止法	ボイラー 塗装ブース ショットブラスト
水質汚濁防止法	廃ガス洗浄施設
瀬戸内海環境保全特別措置法	廃水処理施設 廃ガス洗浄施設
公害防止組織法	洗浄工場
大阪府公害防止条例	吹付塗装施設
フロン排出抑制法	空調 冷蔵庫 旋盤機械 エアドライヤー 冷水器
下水道法	廃ガス洗浄施設 表面処理施設
高圧ガス保安法	圧縮空気製造設備 窒素ガス製造設備
顧客要求事項	客先のグリーン調達情報等

【東京営業所】

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物
東京都環境基本条例	一般廃棄物
資源有効利用促進法	製品の長期間使用並びに再生資源・再生部品の利用促進
小型家電リサイクル法	電子電気製品
顧客要求事項	客先のグリーン調達情報等

【北九州営業所】

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物
福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	一般廃棄物
資源有効利用促進法	製品の長期間使用並びに再生資源・再生部品の利用促進
小型家電リサイクル法	電子電気製品
顧客要求事項	客先のグリーン調達情報等

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

環境活動は常に社会より企業に対し要求されている問題であり、当社が企業として環境活動を推進して行く事は当社にとって企業としての社会的責任であると認識しており、社会の公器として全社的に環境活動を推進するべきと考えている。

□環境への取り組み



再資源化物置き場に「リサイクルステーション」の看板を設置し、リサイクルへの意識向上を図っています。



社内に設置している自動販売機は、売り上げの一部を募金団体へ寄付しています。



月に一度、最寄駅から会社までの通勤道の清掃活動を行っています。自主参加ですが毎月たくさんの人が参加しています。





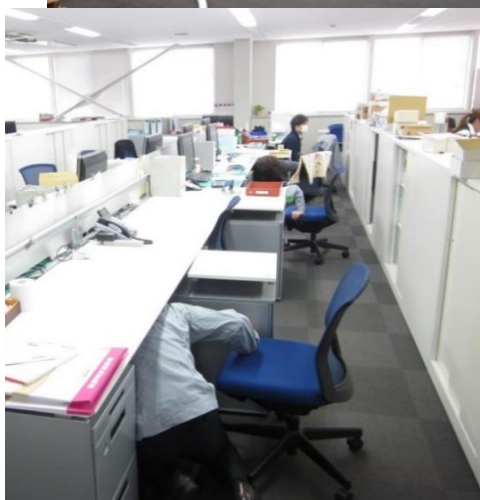
敷地内でキュウリを育て、募金と引き換えに配布。集まった募金は環境活動を行う団体に寄付を予定しています。

キュウリ募金へのご協力をお願いします

エコアクション21の活動で、立体駐車場にてキュウリ等を栽培し皆様の募金と引き換えにお渡しします。

集まった募金は、地域の環境団体へ全て寄付します。

皆様の善意ある募金をお願いします。



消防訓練は消防署の協力を得て、通報、放水、消火器の訓練を行います。
避難訓練は毎年違う部署で実施し、防災意識を高めています。